



6年生が理科の時間に地層の学習をしています。先日は校門横の工事現場の地層を見に行き、れき岩や砂岩、泥岩などの層があることを確かめました。今日は県立博物館の先生をお招きし、地層や化石のことを詳しく教えていただきました。学校周辺の山が花崗岩の層でおおわれていることや、平地には川の氾濫で運ばれたと思われる砂岩の層があることなどを知り、これまでの学習を深めていました。化石の学習では、実際に発掘されたアンモナイトや三葉虫、ウミユリやシダ、恐竜の糞の化石などを見せていただきました。最後は木の葉の化石を取り出す発掘体験をしました。岩石の層に沿ってたがねを打ち込むと、スパッときれいに岩石が割れ、運がよいと中から木の葉の化石が出てきます。子どもたちは、わくわくドキドキしながら楽しく学習することができました。普段はなかなか体験できない、貴重な学習の機会となりました。